

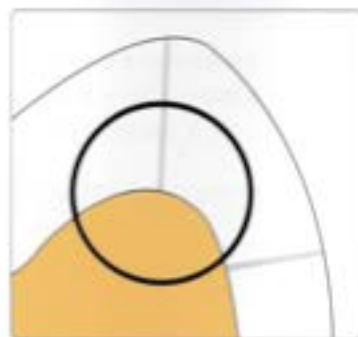
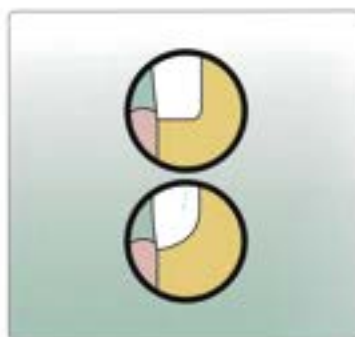
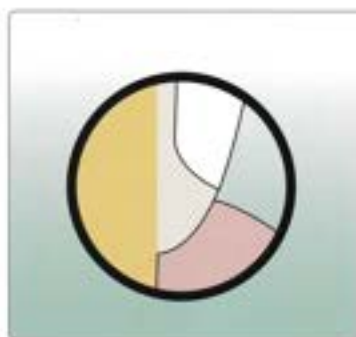
PREPARATION GUIDELINES

形成ガイドラインおよび最低限の厚み

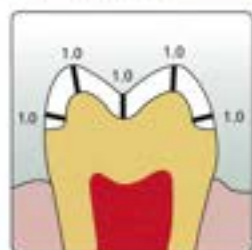
IPS e.max プレスを使用して正しく修復物を製作するには、支台歯形成のガイドラインを必ず守ってください。

オールセラミックス修復のための基本的な支台歯形成方法

- 鋭縁や鋭角を作らないようにします。
- マージンは内縁に丸みを持たせたショルダー、またはディープシャンファアを付与します。
- IPS e.max プレス用に記された最低限の厚みを確保します。

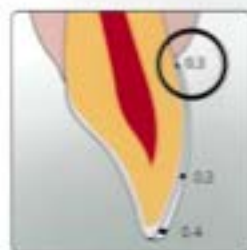


テーブルトップ



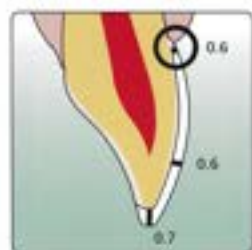
- 最低限の厚みを守り、解剖学的形態を考慮します。
- マージンは内縁に丸みを持たせたショルダーまたはディープシャンファアにし、最低 1.0 mm の厚みを持たせます。
- 咬合面には最低 1.0 mm の厚みを持たせます。

シンベニア



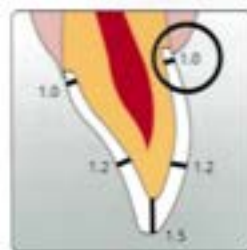
- 形成はできる限りエナメル質にとどめます。
- 切縁にかかるマージン部は安静時、または咬合時に干渉しない箇所に設けます。
- 歯頸部および唇側面には最低 0.4 mm、切縁部には最低 0.5 mm の厚みを持たせます。
- 十分なスペースがある場合、支台歯形成する必要はありません。

ベニア



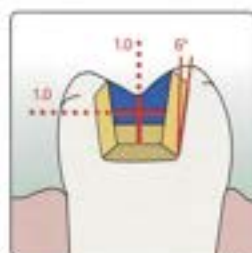
- 形成はできる限りエナメル質にとどめます。
- 切縁にかかるマージン部は安静時、または咬合時に干渉しない箇所に設けます。
- 歯頸部および唇側面には最低 0.6 mm、切縁部は最低 0.7 mm の厚みを持たせます。

前歯クラウン



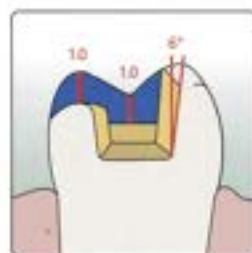
- 最低限の厚みを守り、解剖学的形態を考慮して均一に削除します。
- マージンは内縁に丸みを持たせたショルダーまたはディープシャンファアにし、最低 1.0 mm の厚みを持たせます。
- 切縁は最低 1.5 mm、唇側および舌側には最低 1.2 mm の厚みを持たせます。
- 従来型またはセルフアドヒーズの接着を行う場合、保持のために、十分な支台歯の高さを確保してください。

インレー



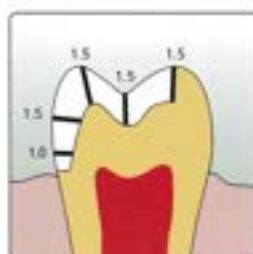
- 安静時、または咬合時の対合歯とのコンタクトを十分考慮します。
- マージン部は咬合接触部を避けてください。
- 製溝部の深さ、および幅はそれぞれ1.0mm以上設けます。
- インレー辺縁の隅角部の角度は100°~120°に設定します。ショルダーによる十分な支持が得られない場合、マージン辺縁にコンタクト部を設定しないでください。
- セラミックス材に応力が集中しないよう内面の隅角は丸く処理します。
- スライスカット、ベベルやフェザーエッジにしないでください。

オンレー



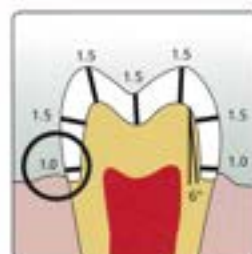
- 安静時、または咬合時の対合歯とのコンタクトを十分考慮します。
- マージン部は咬合接触部を避けてください。
- 製溝部の深さ、および幅はそれぞれ1.0mm以上設けます。
- オンレー辺縁の隅角部の角度は100°~120°に設定します。ショルダーによる十分な支持が得られない場合、マージン辺縁にコンタクト部を設定しないでください。
- セラミックス材に応力が集中しないよう内面の隅角は丸く処理します。
- スライスカット、ベベルやフェザーエッジにしないでください。
- 咬合面には最低1.0mmの厚みを持たせます。

パーシャルクラウン



- 安静時、または咬合時の対合歯とのコンタクトを十分考慮します。
- マージン部は咬合接触部を避けてください。
- 咬合部は最低1.5mmの厚みを持たせます。
- マージン部は内縁部に丸みを持たせたショルダーまたはディープシャンファアにし、最低1.0mmの厚みを持たせます。

臼歯クラウン



- 最低限の厚みを守り、解剖学的形態を考慮して均一に削除します。
- マージン部は内縁部に丸みを持たせたショルダーまたはディープシャンファアにし、最低1.0mmの厚みを持たせます。
- 咬合面、唇側および舌側は最低1.5mmの厚みを持たせます。
- 従来型またはセルフアドヒージブの接着を行う場合、保持のために、十分な支台歯の高さを確保してください。

3本ブリッジ



- 咀嚼力が異なるため、前歯部と臼歯部ではポンティック幅の許容値に違いがあります。
- ポンティック幅の決定は形成の前に行ってください。
- 前歯部(犬歯まで)のポンティック幅は11mm以下にしてください。
 - 小臼歯部(犬歯から第二小臼歯まで)のポンティック幅は9mm以下にしてください。
 - 従来型またはセルフアドヒージブの接着を行う場合、保持力のある仕様にし、十分な支台歯の高さを確保してください。